

——宗教学研究室紀要編集委員——

杉村 靖彦	京都大学大学院文学研究科	教授
後藤 正英	佐賀大学教育学部	准教授
伊原木 大祐	北九州市立大学基盤教育センター	教授
竹内 綱史	龍谷大学経営学部	准教授

——第14号執筆者紹介——

鳥越 覚生	甲南大学	非常勤講師
小林 敬	京都大学文学部	非常勤講師
樽田 勇樹	京都大学大学院文学研究科	博士課程

\*\*\*\*編集後記\*\*\*\*

本年度は計三本の論考を掲載することができました。お忙しい中査読の労を取ってくださいました先生方には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

三年目の編集担当になりますが、今年もまた論文の面白さをあらためて教わりました。このたびの経験を今後の研究活動に活かしてゆきたいと思います。

(樽田勇樹記)

宗教学研究室紀要 第16号 (京都大学 文学研究科 宗教学専修 編)

2019年12月20日発行

Articles

Le voile et l'intérêt. Pourquoi Bergson méprise-t-il « l'intuition » de Schopenhauer?

Kakusei TORIGOE 3

Les deux sources de la théorie de l'affection chez Alain: *Les Passions de l'âme* de Descartes et *Les Fragments* de Jules Lagneau

Kei KOBAYASHI 22

Der frühe Heidegger und das Problem des philosophisch suchenden Glaubens: Zu seiner vollzugsgeschichtlichen Interpretation von "Augustinus und Neuplatonismus" in der Vorlesung vom Sommersemester 1921

Yuuki TARUTA 40